

1. 日時 平成31年2月8日(金) 19時～
2. 場所 高知県庁 2階 第二応接室
3. 出席者 部会員9名、事務局4名

#### 【議事概要】

##### (1) 子宮頸がん検診の実績等について

###### ○平成29年度 市町村子宮頸がん検診の実績について(資料1)

- ・市町村が実施した子宮頸がん検診の、受診者数、精検者数、精検結果等について報告。
- ・精度管理指標である「要精検率」「精検受診率」「陽性反応的中度」「がん発見率」は国の許容値を満たしている事を報告。

###### ○平成29年度 県全体のがん検診の実施状況調査結果について(資料2)

- ・資料1の実績数に加え、職場で実施される検診等(以下、職域検診という)を含めた県全体の受診率について報告。子宮頸がんは25機関から報告をいただく。
- ・2ページの①～③の表  
職域検診の報告依頼項目は、受診者数・要精検者数・精検受診者数・精検結果の4項目であるが、情報提供可能な範囲での報告でかまわないこととしていることから、4項目全ての報告をいただいた機関と、一部の情報のみ報告をいただいた機関の情報をそのまま合算すると、精度管理状況が比較できないことから、4項目全て報告いただいた9機関分の実績と市町村検診実績を合算した表①と、2項目(受診者数・要精検者数)の報告をいただいた9機関分に①の表を合算した②の表、受診者数のみ報告いただいた7機関分に②の表を合算した③の表に分けて分析したことを報告。
- ・2ページ下段の表(40歳以上の集計の年次変化を掲載)  
検診受診者数は、28年度より1,636名減の44,124名。がん発見数は、28年度より14名減の33名。

###### ○ベセスダシステムによる検診実施状況について(資料3)

- ・ベセスダシステムが開始された平成22年度からの推移と、平成21年度のクラス分類の結果を掲載
- ・下段に、平成27～平成29年度の細胞新判定の推移を掲載

###### ○平成30年度 各種検診の検診費用徴収額調べについて(資料4)

- ・市町村検診時に住民から徴収する自己負担額について報告。  
表ページは自己負担額が少ない順に並べた表であること、裏ページは市町村順に並べた表であること説明。
- ・子宮頸がんは、表の右端に表記。  
グレーで着色している箇所が、29年度と変更のあった箇所であること説明。

##### (2) 受診率向上対策について

###### ○クーポン事業での子宮頸がん検診の実施状況について(資料5)

- ・1ページ目で、平成21年度～29年度までの受診状況について報告。
- ・2ページ目で、平成21年度からの事業の変遷を説明。31年度も29年度から同様に、20歳の方のみが無料クーポン事業の対象となること報告

##### (3) 子宮頸がん検診精度管理調査結果について(資料6)

- ・市町村及び医療機関に調査を実施した精度管理状況について結果を報告。

#### (4) その他

##### ○地域がん登録の登録状況について（資料7）

- ・地域がん登録の2014年の全国状況を追加した資料を配布。

##### ○子宮頸がん検診実施指針様式改正について（資料8）

- ・集合検診の実施主体である高知県総合保健協会より、市町村から提出される受診者名簿をデータ作成する旨を指針に追加してほしいと要望があり指針を改正することを説明し、了承を得る。

##### ○総合保健協会より取り組み報告（資料9）

- ・高知県総合保健協会より、若年層の子宮頸がん検診の受診率を向上させるために、医療系の学生（1年生・3年生）が学校で無料検診を受けられるという案を説明。
- ・各学校にはこれから説明に行くとのこと。

##### ○高知県全国がん登録情報提供等審査委員会の設置について（参考資料6）

- ・がん登録情報の提供等にかかる審査は県の附属機関でなければならないことが判明したため、健康診査管理指導協議会のがん登録部会を廃止し、新たにがん登録推進法を根拠とした「高知県全国がん登録情報提供等審査委員会規則」を制定。平成31年1月1日付で同委員会を設置したことを説明。